

# 鉄道駅バリアフリー料金制度に関する バリアフリー設備の整備進捗状況について

JR 西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023年4月1日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を進めております。

このたび、国土交通省近畿運輸局へ報告した2023年度の進捗状況(様式2-1~様式2-5)について、お知らせします。

## 1. 2023年度のバリアフリー設備整備進捗状況

### (1) 設置・改良費

設備名	上段：整備駅名(のりば)/下段：整備数		設置・改良費 <sup>※3</sup>	計画進捗率 <sup>※4</sup>
	整備中	整備完了		
ホーム柵	弁天町(1・2)、 西九条(1~4)、 天王寺(11・14)、 京都(3・4)、明石(1・2)、 新今宮(2・3)、神戸(3・4)	【設置】三ノ宮(1)	886 百万円	16% (3/19 番線)
		1 駅 1 番線		
ホーム安全スクリーン	—	【改良】大阪(21) <sup>※5</sup>	1,259 百万円	35% (49/142 番線)
		7 駅 16 番線		
段差隙間縮小に資する設備	—	兵庫(1~4)、茨木(1・4)、 桜ノ宮(1・2)、 天王寺(1~9)、 摂津富田(2・3)、 新大阪(1~3)、 海老江(1・2)、 元町(1~4)、垂水(1・2)、 鳳(1~5)、芦屋(2・3)、 桂川(1・2) <sup>※6</sup> 、須磨(1~4) <sup>※6</sup>	18 百万円	14% (2/14 番線)
		13 駅 43 番線		
		京橋(3・4)		
		1 駅 2 番線		

※1 エレベーター、エスカレーターの当該年度の整備はありません

※2 【設置】【改良】の記載がない設備はすべて新規設置を示します

※3 整備中および整備完了の設備に対して発生した費用を示します

※4 計画期間(2021~2025年度)における整備計画数に対する進捗率(整備完了)を示します

※5 大阪駅21番線フルスクリーンホームドアの改良費を示します

※6 ホーム上の屋根等がある範囲の整備を完了します。ホーム上の屋根等がない範囲の整備は引き続き進めてまいります。

(2) 更新費

エレベーターの更新 5 駅 9 基 182 百万円

エスカレーターの新設 1 駅 6 基 312 百万円

(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費等）

維持管理費	901 百万円
収受システム改修費	108 百万円
その他費用	174 百万円

(4) 料金収受額・整備費

ア. 当該年度（2023 年度）

①料金収受額：5,380 百万円

②整備費：3,840 百万円 ※（1）～（3）の合計額

イ. 累積（2021 年度から 2023 年度まで）

①料金収受額：5,380 百万円 ※2023 年度より収受を開始しているため、ア. ①と同額

②整備費：7,868 百万円

[参考] 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備

（2022 年 8 月 19 日ニュースリリース）

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page\\_20617.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html)

鉄道駅バリアフリー料金制度に関する整備等計画の変更について

（2024 年 3 月 27 日ニュースリリース）

[https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page\\_24888.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page_24888.html)

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、10 番、11 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



## 2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	西日本旅客鉄道株式会社
---------	-------------

本年度整備費	3,840 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）			
設備名	整備数		駅名
ホーム柵	1 駅	1 番線	三ノ宮
エレベーター	0 駅	0 基	
エスカレーター	0 駅	0 基	
段差隙間縮小に資する設備	1 駅	2 番線	京橋
ホーム安全スクリーン	13 駅	43 番線	兵庫、茨木、桜ノ宮、天王寺、 摂津富田、新大阪、海老江、 元町、垂水、鳳、芦屋、桂川 <sup>※</sup> 、須磨 <sup>※</sup>
備考			

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数		1 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0 駅	
	二経路以上確保駅	0 駅	

本年度徴収額	5,380 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	3,305	2,075	0
備考			

本年度までの累計整備費	7,868 百万円
本年度までの累計徴収額	5,380 百万円

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵	9 駅	18 番線	※1	886 百万円
エレベーター	0 駅	0 基		0 百万円
エスカレーター	0 駅	0 基		0 百万円
段差隙間縮小	1 駅	2 番線	京橋	18 百万円
ホーム安全スクリーン	13 駅	43 番線	※2	1,259 百万円
備考	※1 供用開始：【設置】1駅1番線(三ノ宮)、【改良】1駅1番線(大阪) 整備中：7駅16番線(京都、明石、弁天町(継続)、西九条(継続)、天王寺(継続)、新今宮、神戸) ※2 供用開始：13駅43番線(兵庫、茨木、桜ノ宮、天王寺、摂津富田、桂川、新大阪、海老江、元町、垂水、鳳、芦屋、須磨) ※桂川、須磨はホーム上家がある範囲への整備完了を示す			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
エレベーター	5 駅	9 基	※3	182 百万円
エスカレーター	1 駅	6 基	三ノ宮	312 百万円
備考	※3 加島、尼崎、立花、六甲道、明石			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用(駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費				901 百万円
収受システム改修費				108 百万円
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				174 百万円
備考	維持管理費は、エレベーター、エスカレーター、ホーム柵、ホーム安全スクリーンの維持管理に要した費用を示す。			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

**バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）**

年度	ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	0駅	0%
2022年度	2番線	11%	0駅	0%	0駅	0%
2023年度	1番線	16%	0駅	0%	0駅	0%
2024年度	6番線	47%	0駅	0%	0駅	0%
2025年度	10番線	100%	0駅	0%	0駅	0%
累計	19番線	100%	0駅	—	0駅	—

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

**バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度以降の計画）**

年度	ホーム柵設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	6番線	33%	0駅	0%	0駅	0%
2027年度	12番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
累計	18番線	100%	1駅	100%	1駅	100%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における目標数により算出すること

## ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
西九条(1,2,3,4番ホーム)可動式ホーム柵他新設	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	558 百万円
弁天町(1,2番ホーム)可動式ホーム柵他新設	ホーム上での工事においては、営業線近接工事を取り扱う資格を有し、かつ、当社仕様のホーム柵設置技術を有している施工会社による施工が必要なため	過去の施工実績等を基に基準価格を設定し、適正な価格協議を実施	290 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。